



白鷹の秋を彩る

芸術祭

白鷹町誕生 65 周年記念 第 49 回白鷹町芸術祭

10月25〜27日の3日間、白鷹町文化交流センターあゆむを会場に白鷹町芸術祭が開催されました。

今年は昨年を上回る30団体が参加。異部門コラボ発表や新規加入団体（歌謡部門）も参加するなど新たな要素が加わり、ますます楽しい芸術祭となりました。今年、県大会で銀賞に輝いた荒砥高校吹奏楽部の素晴らしい演奏、白鷹太鼓鷹翔会の爽快なリズムに乗せて披露した迫力ある演舞や美しい歌声を響かせた歌

謡ステージなど会場は連日盛り上がりを見せました。また、昭和63年から文化交流を行っている「栃尾文化協会」の方もお招きし、舞踊と詩吟、甚句（地元盆踊り唄）を披露していただきました。

ステージ部門のほかにも、会場には写真や書、絵画などの作品約500点が展示されたほか、江戸千家荒砥会と表千家茶道愛好会による茶席でのおもてなしも行われ、多くの来場者が白鷹らしさあふれる芸術の秋を楽しみました。

